

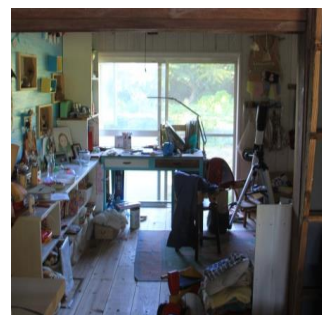
シングルマザー、 バリキャリから自給自足へ。 豊かな自然と地元の方々の 温かさに囲まれ夢が実現。

東京での華々しい生活。バリバリのキャリアウーマンとして働いていたが、いつも生きづらさを感じていた。30代に人生最大の機会があり価値観が一変。沖縄の西表島に一ヶ月逗留した後、久米島に1年移住。東京に戻り家具・リフォーム工房に弟子入り。娘出産、離婚を機に、東京国分寺市で、洋服作りで独立 Norbulingka (ノル布林カ) 本格始動。チベット語で「宝の庭」という意味。リフォーム経験を活かし、借家をリフォームし雑誌やテレビ取材などが訪れるほどの、注目で人気なお店を経営。洋服だけでなく、「ソーイングカフェ」としてランチを作ったり、「Open Life」として庭でご飯を炊きご一緒にランチ作りしたり、暮らしの手仕事をしていた。

目指す暮らしには東京の家の面積や回りの環境では限界があった。借家であるお店は、いずれ大家さんに返さなくては行けない事もあり、自分の生き方、暮らし方、子育て、仕事、食べ物、健康・思うところあってようやく見つけた移住地が、自然豊かな国東市だった。「沖縄に住んでいた時に自然の恵みで自分が生かされている事を実感しました。その暮らしをもう一度やりたい、娘にも見せておきたい。そして、いろいろな方にも体験していただける施設を作りたい。」との思いから図面を引き近所の大工さんと共にリフォームに励んだ。自分の思いがいっぱい詰まった空間作りをし、国東でのノル布林カオープンを目指した。大きな母屋、納屋、庭、畑、山とあり、食材が調達できる海へも徒歩圏内。自給自足的な暮らしを目指し、肉以外の食材はほぼ周囲の自然やご近所とのお付き合いの中から揃えられる。畑では、自然栽培で季節の野菜を育てている。国東は食材の宝庫。海のもの、山のもの、川のもの、野のもの…。そして温かい人が多いのも大きな魅力。

自然の暮らし 暮らすように泊まる Norbulingka (ノル布林カ) ゲストハウス・民宿を移住し1年後にオープンさせた。

娘、そらちゃんとの国東暮らし。まだまだ夢は広がります。



国東市に来て感じたこと

周りの環境に恵まれ、本当に素敵な国東暮らしを楽しんでいる。寂しい思いをする事もあるかもと思っていたが、そんな事は少しも感じたことなく、近所の方に良くしていただき一緒にBBQをしたりお茶したり、自然の恵みをいただき、ご近所と物々交換したり、生活の知恵を教してもらったりと東京で描いていた夢の生活が叶えられる場所。

移住を考えている方へ

Norbulingka (ノル布林カ) をご利用頂ければ、移住体験施設的な役割も果たしており、移住希望者が宿泊され実際の移住体験話や、畑・山・海に入り体験をしたりもできます。まずは、国東市に訪れ、空気に触れ、国東を感じに来ていただければと思います。「準備ができたなら」と言っていたら永遠に準備なんてできない」と言う武井さん。移住をしてきたからこそ語れる本当の意見、ご相談に遊びに来てください。



Profile

武井 啓江 東京都出身
そら

移住年月 平成28年4月

移住前職業 ノル布林カ(自営)

移住元 東京都国分寺市

購入 400万円

引越費用 25万円

補助金 引越(当時)10万円

住宅改修 50万円

創業支援 150万円